

よみがえりの種を播こう



高年齢者の知恵と経験が創る島おこし

日時：2014年3月4日 16:00～17:00

場所：池間島離島振興総合センター

お話：前泊博美

池間島で取り組んでいる島おこしの事例紹介と、ディスカッションを行います。

ウツマミの種を播こう

日時：2014年3月4日 17:00～18:00

場所：池間島島内の畑

お話：前泊勤さん（88歳）

畑にて整地・種まきを行います。
農作業ができる服装でお越し下さい。



ウツマミ（下大豆）の記憶

90代の高年齢者のお話から、池間では多様な豆類が栽培されていたことが解ってきました。戦前はウツマミ（下大豆）と呼ばれる小さな豆が栽培され、味噌や豆腐はこれで作られていました。戦後は「高アンダー」「低アンダー」といった大豆が導入され、次第に作られなくなっていったようです。

しかし、このウツマミは、現在は緑肥としてキビ畑の地力回復に使われていました。この効果は絶大と言われています。また、この豆で作った豆腐は大変おいしいとも言われています。2013年の秋にこの種豆を下地の農家さんに分けて頂きました。池間の在来作物の復活を目指すため、2014年春からウツマミ（下大豆）の栽培を始めたいと思います。

耕作放棄地再生で島おこし

高齢化によって島で増え続けている耕作放棄地。人の手が入らず放置された畑は、景観の悪化や外来植物の繁茂を招いてしまいます。島を訪れる旅行生の力を借りつつ、これらの耕作放棄地を再び畑としてよみがえらせて、在来作物の復活、地産地消の推進、島の特産品づくりを行う活動が2012年からスタートしました。

5,600㎡の畑の再生には、不発弾調査の事業を活用しました。その後、手作業で石拾いを行い、高齢者の経験や技術を生かしながら農産物づくりに取り組んでいます。



島の宝は高齢者の生きる知恵

高齢者の経験や生活の知恵を記録にとどめ、そこから次世代へひき繋ぐべき島の宝物を再発見していく取り組みとして「アマイ・ウムクトゥ・プロジェクト」に取り組んでいます。